

(別紙)

# 温室効果ガス排出量計算書

太線内は、自動で数値が計算されます。

エネルギー（燃料）の種類別に年間の使用量を記入して下さい。

基準年度は平成17年度以降の任意の年度を設定してください。更新申請の際は、新規申請時と同じ基準年度を用いてください。自動で計算されます。

排出区分	単位	基準年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	1～5年目の平均	
		平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
電気	kWh	60,000	55,000	55,000	56,000	55,000	54,000	22.6	
ガソリン	L	1,000	800	800	800	750	750	1.8	
軽油	L	<b>新規申請時の場合</b> 基準年度と比較いただく実績は「①直近年度」「②直近5か年度の平均」のいずれかです。 ①を選択した場合は、「基準年度」と「5年目(令和7年度)」のセルのみ入力ください。 ②を選択した場合は、「基準年度」と「1～5年目」までのセルを入力ください。  ※認定優良の申請には、①もしくは②が基準年度より減少している必要があります。							
灯油	L								
A重油	kL								
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	2,000	1,800	1,800	1,700	1,700	1,700	3.6	
その他( )		<b>更新時の場合</b> 基準年度と比較いただく実績は「直近5か年度の平均」です。 「基準年度」と「1～5年目」までのセルを入力ください。  ※認定優良の更新には原則、直近5年度の平均が基準年度より減少している必要があります。 ※増加した場合には、今後の温室効果ガス排出量の削減計画等の提出が必要となります。							
その他( )									
その他( )									
CO <sub>2</sub> 排出量(①)	t-CO <sub>2</sub>	31.1	28.2	28.2	28.4	27.9	27.5	28.0	

※ 原単位(①/②)を排出量比較の評価指標に使用する場合は、以下の欄も記入して下さい。(任意選択)

原単位の指標(②)	年間売上(単位:千万円)						
	基準年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	1～5年目の平均
②の実績	5.12	4.80	5.11	5.50	5.24	5.31	5.19
原単位あたりCO <sub>2</sub> 排出量(①/②)	6.08	5.87	5.52	5.16	5.32	5.17	5.40

## <備考>

- この様式は、電気等のエネルギー（この様式を「温室効果ガス排出量」）
- 「地球温暖化対策計画書」の届出（第3号様式）へ記入しても構いません。
- この様式で使用している排出係数は、「地球温暖化対策計画書」で使用している以下の係数です。

原単位とは活動量あたりのCO<sub>2</sub>排出量を評価するもので設定は任意です。設定される場合は、業態に応じた適切な原単位指標を設定してください。また指標の単位は、原単位あたりのCO<sub>2</sub>排出量を的確に比較できるように、(数値が小さすぎたり、大きすぎたりとならないように)調整してください。

電気	0.000411 t/kWh	ガソリン	0.0022
灯油	0.00250 t/L	A重油	2.75

「排出量報告書(排出量計算書連動)」を提出する際には、このシート「排出量計算書」も併せて提出してください。

※上記以外の燃料を使用している場合は、環境局脱炭素社会推進課(TEL:972-2693)までお問い合わせください。

**「1 排出量実績(CO2換算)」は排出量計算書シートに入力された内容に基づき自動入力されます。**

※事業所の排出量をすでに把握できている場合等、排出量計算書シートを使わない場合は、  
排出量報告書(排出量計算書非連動)を用いて報告してください。(排出量等を直接入力できます)

1

基準年度の排出量 ① (平成17年度以降の任意の年度)	排出量実績 ② (申請時は前年度実績(又は過去5か年度の平均)) (更新時は過去5か年度の平均)					削減率 ((①-②)/ ①) ×100	
	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
31.1	28.2	28.2	28.4	27.9	27.5		
t-CO2/年	(平均)				28.0	t-CO2/年	10.0 %

(注) 下表の原単位あたりの排出量を評価指標にして比較する場合も、上欄の排出量は必ず記入してください。

※ 原単位あたりの排出量を評価指標にして比較する場合は、以下の欄も記入してください。(任意選択)

原単位の指標	年間売上 (単位：千万円)
--------	---------------

原単位あたり基準年度の 排出量 ① (平成17年度以降の任意の年度)	原単位あたり排出量実績 ② (申請時は前年度実績(又は過去5か年度の平均)) (更新時は過去5か年度の平均)					削減率 ((①-②)/ ①) ×100	
	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
6.08	5.87	5.52	5.16	5.32	5.17		
	(平均)				5.40		11.2 %

## 2 排出抑制に係る主な取組内容 (量が多い場合は別添でも構いません)

<取組例>

- ・空調を高効率のものに更新
- ・空調時間の短縮 (8:00~19:00⇒9:00~18:00)
- ・照明の間引きの徹底
- ・ボイラーの高効率化

**「2 排出抑制に係る主な取組内容」は本シートに直接入力してください。**

「1 排出量実績(CO2換算)」の削減につながった取組について記入してください。  
必要に応じて参考資料を提出いただいても構いません。

<備考>

- 1 別紙(温室効果ガス排出量計算書)を使用して排出量を計算し、その数値を記入してください。(この様式に別紙を添付して提出してください。)
- 2 市民の健康と生活環境の向上を図るため、市へ実績として提出する際は、「排出量報告書(排出量計算書連動)」の届出事業者の方には、「排出量計算書」についても併せて提出してください。 「基準年度の排出量」は、「排出量計算書」の届出事業者の方の「基準年度の排出量」の使用量から換算する係数で算出した数値です。
- 3 「排出量実績②」は、新規申請時には申請年度の前年度実績(又は前年度以前5か年度の実績及びその平均実績)を記入してください。更新時には更新する年度の前年度以前5か年度の実績及びその平均実績を記入してください。
- 4 基準年度は、新規申請時に設定した年度をその後も継続して基準年度とします。
- 5 この報告書で排出量の計算に使用する排出係数は、「地球温暖化対策計画書」の届出制度で使用している排出係数とします。また、「基準年度の排出量①」は、申請(更新)時に「排出量実績②」の計算に使用した排出係数で算出するものとします。

(第2頁様式)

※事業所の排出量をすでに把握できている場合等、排出量計算書シートを使わない場合は、このシート「排出量報告書(排出量計算書非連動)」を用いて報告してください。(排出量等を直接入力できます)

## 1 排出量実績 (CO<sub>2</sub>換算)

基準年度の排出量 ① (平成17年度以降の任意の年度)	排出量実績 ② (申請時は前年度実績(又は過去5か年度の平均)) (更新時は過去5か年度の平均)					削減率 ((①-②)/ ①) ×100	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
t-CO <sub>2</sub> /年	(平均)					t-CO <sub>2</sub> /年	%

(注)下表の原単位あたりの排出量を評価指標にして比較する場合も、上欄の排出量は必ず記入してください。

※ 原単位あたりの排出量を評価指標にして比較する場合は、以下の欄も記入してください。(任意選択)

原単位の指標	

原単位あたり基準年度の 排出量 ① (平成17年度以降の任意の年度)	原単位あたり排出量実績 ② (申請時は前年度実績(又は過去5か年度の平均)) (更新時は過去5か年度の平均)					削減率 ((①-②)/ ①) ×100	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	(平均)						%

## 2 排出抑制に係る主な取組内容 (量が多い場合は別添でも構いません)

--

### <備考>

- 別紙(温室効果ガス排出量計算書)を使用して排出量を計算し、その数値を記入してください。(この様式に別紙を添付して提出してください。)
- 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づく「地球温暖化対策計画書」の届出事業者の方は、市へ実績として報告した排出量を「排出量実績②」へ記入しても構いません。その場合、「基準年度の排出量①」は、「排出量実績②」の計算で使用した排出係数(温室効果ガスの排出量をエネルギー使用量から換算する係数)で算出した数値を記入してください。
- 「排出量実績②」は、新規申請時には申請年度の前年度実績(又は前年度以前5か年度の実績及びその平均実績)を記入してください。更新時には更新する年度の前年度以前5か年度の実績及びその平均実績を記入してください。
- 基準年度は、新規申請時に設定した年度をその後も継続して基準年度とします。
- この報告書で排出量の計算に使用する排出係数は、「地球温暖化対策計画書」の届出制度で使用している排出係数とします。また、「基準年度の排出量①」は、申請(更新)時に「排出量実績②」の計算に使用した排出係数で算出するものとします。